



## 大学とのデータの共有・分析による新サービス提案を募集！ ～ETC2.0データと民間所有データを統合分析し、地域のモビリティサービスを強化～

国土交通省は、生産性革命プロジェクトとして、ETC2.0データの官民連携での活用を推進しています。

今般、国土交通省並びに大学（東京大学と神戸大学）は、大学がETC2.0データと民間企業所有データを統合分析し、より深化したデータ分析を図ることで、渋滞削減等道路交通の課題解決に資するとともに新しい施策やサービスを創出し、地域モビリティの更なる強化を図ることとしました。

つきましては、民間企業データとETC2.0データを活用した新しいサービスの提案について募集することとしましたのでお知らせします。

なお、提案を頂いたサービス案については、別途、有識者委員会において評価を実施し、実用化に向けた制度的・技術的課題を検討した上で、実験を進めてまいります。

**公募期間** 令和元年10月8日（火）～11月7日（木）

**公募内容** ETC2.0データを用いた新たなサービス案

・提案内容 : ETC2.0データと民間所有データを用い、地域のモビリティサービスの強化等に繋がるサービス

**応募資格** 民間企業

**資料提供** 企画提案にあたってETC2.0データのサンプルを提供します。必要な方は別途ご連絡願います。

**費用負担** 企画提案の作成及び実験の実施にかかる費用は公募参加者の負担です。

※公募の詳細は別紙のとおり

問い合わせ先

国土交通省 道路局道路交通管理課 企画専門官 瀬戸、係長 北川

TEL:03-5253-8111(内線37432、37465) 直通 03-5253-8483 FAX:03-5253-1617

# 公募のポイント

## 大学

官民のニーズを踏まえ、統計処理や加工等を実施

ニーズの  
マッチング



共有

共有

## 国土交通省

ETC2.0車載器と路側機との通信により情報を収集

- 車両の情報 : 種別 (普通、大型等)、用途 (情報、貨物等)
- 走行履歴情報 : 時刻、位置情報
- 挙動履歴情報 : 進行方向、速度、加速度、ヨー角速度



道路



クルマ



ETC2.0 対応カーナビ ETC2.0 車載器

## 民間からの新たなサービス案の提案

例えば

### 民間保有データとの相互利用

ETC2.0データ

- 走行履歴情報
  - ・時刻
  - ・位置情報
- 挙動履歴情報
  - ・急ブレーキ

民間保有データ

- お客様情報
  - ・年齢 等
- 安全運転情報
  - ・時刻
  - ・事故情報 等

注意情報の提供



経路履歴等を分析し、運転特性を踏まえた注意や代替モビリティの提案等することで交通安全性を向上。(所有者の了解を前提とするサービスも含む)

### ETC2.0データとバスデータの相互利用

ETC2.0データ

- 走行履歴情報
  - ・渋滞
  - ・所要時間

バスデータ

- 時刻表
- 走行位置

バスの到着まで〇分

〇〇までの到着予測  
時間〇分

ETC2.0データによるバス路線の渋滞状況とバスの走行位置、時刻表等を組み合わせて、バスの到着予測や目的地への到着予測時間を提供し、利用者サービスの向上や、交通モードの選択判断支援を実施

### ETC2.0データとタクシーデータの相互利用

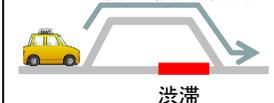
ETC2.0データ

- 走行履歴情報
  - ・渋滞
  - ・所要時間

タクシーデータ

- 走行位置
- 料金

時間優先経路  
料金優先経路



ETC2.0データによる渋滞情報 (統計所要時間等) とタクシーの位置情報等を組み合わせて、目的地までの最適経路や距離・時間による想定料金を案内

地域のモビリティサービスの強化

## 大学が分析するETC2.0データと民間所有データの 共有並びに利活用に係るサービス案の募集について

### 1. 実証実験の背景及び目的

近年、IoT等技術革新の急激な進展に伴い、様々なデータを有効活用する事に対するニーズや重要性が増しています。

今般、大学が中心となって国土交通省と民間企業とのニーズをマッチングさせ、国土交通省の所有するETC2.0データとサービス提案を行う民間企業自身が所有するデータを共有し、統合分析することにより、道路交通の課題解決に資する新たな施策やサービスを創出することで、地域のモビリティサービスを強化することとしております。

ついては、民間企業に対し、官民で共有されたデータを用いた新しいサービスの提案について募集します。

### 2. 提案を頂いたサービス案の取扱い

民間企業から提案頂いたサービス案については、別途開催される有識者委員会において評価のうえ選定します。選定されたサービス案については、実用化に向けた制度的・技術的課題を検討の上、実証実験を実施する予定です。なお、実施にあたっては、ご提案頂いた民間企業と国土交通省、大学との間で実証実験の実施にあたっての協定書を締結し共有並びに統合分析されたデータの取扱い等を規定いたします。

### 3. 募集するサービス案

国が提供するETC2.0データを用い、地域のモビリティサービスの強化に繋がるサービスで、国内の関連法令・技術基準を満たすものとします。

具体的な例としては、サービス提案を行う民間企業自身が保有するデータとの統合利用による交通情報サービス、他の交通モード（鉄道、船舶、パーソントリップ等）のデータと組み合わせによるガイダンスサービス、駐車場等の民間施設や土地の利用状況と組み合わせた分析によるサービス向上等、多種多様なサービス提案を期待しております。

提供頂くデータは、無償での提供を前提に、例えば、人・モノの移動データや、交通や施設の利用データなど、道路交通上の課題解決に向けた施策立案に寄与すると思われるデータを想定しています。

#### 4. ETC2.0データ

ETC2.0データは、車両の基本情報、走行履歴情報、挙動履歴情報により構成されます。これら情報は、道路上に設置された路側機と各車両に設置されたETC2.0車載器との間の相互通信により得られます。

サービス立案にあたって対象となるETC2.0データは下表のとおりです。企画立案にあたっては必要な方にはサンプルを提供しますので、10. 連絡・問い合わせ先まで連絡をお願いします。これらのデータは、個別の車両を特定できないように統計処理されたものです。また、サービス案が選定されたのちに行われる実証実験においては提案者である民間企業からのニーズに基づき変更された方法で統計処理したETC2.0データを共有予定です。

基本情報	車載器の情報等（但し、所有者の了解を前提とする）
走行履歴情報	時刻と位置情報（緯度、経度、道路種別）を200m毎に記録しています。但し、エンジンのオンオフ前後500m程度のデータは消去されています。
挙動履歴情報	時刻、位置情報（緯度、経度、道路種別）、進行方向、速度、ヨー角速度、前後加速度、左右加速度を、所定の閾値を超えた時に記録しています。

#### 5. 大学の役割

本実証実験において参加する大学は、東京大学空間情報科学研究センター（代表 柴崎亮介教授）及び神戸大学大学院工学研究科（代表 井料隆雅教授）です。大学は、サーバーに官民から提供されたデータを蓄積し、官民のニーズを踏まえ、必要に応じ処理や加工等を行い、国土交通省及び提案を頂いた民間企業にて活用する形態です。なお、選定されたサービス案については、参加するいずれかの大学と連携した上で検討を進めていきますが、連携する大学については提案内容に鑑み、提案者と調整のうえ決定いたします。

#### 6. 応募資格

本公募の参加資格対象者は、日本での法人格を有する「民間企業」で、ホームページ・パンフレット等で事業内容について確認できる者とします。また、複数者による共同提案の場合は、「民間企業」を含んでいれば応募可能です。

#### 7. 応募期間

令和元年10月8日（火）～令和元年11月7日（木）

## 8. 応募の手続き

応募者は下記に示す書類を作成し、提出してください。ただし、必要がある場合は補足資料の提出を求められることがあります。

### (1) 提出書類

- ア 参加申込書
  - ・様式1による
- イ 提案サービスの概要書
  - ・様式2による（図や写真等を交えて具体的に記載して下さい）
- ウ 提供データの概要書
  - ・様式3による
- エ 添付書類
  - ・企業又は団体の概要と事業内容が分かる資料（パンフレット等）
  - 様式1、2は、公募用URL（[http://www.mlit.go.jp/road/road\\_fr4\\_000082.html](http://www.mlit.go.jp/road/road_fr4_000082.html)）よりダウンロードして下さい。

### (2) 提出方法

電子メール（PDF形式）での提出を原則といたします。電子メールでの提出が難しい場合は、持参、郵送（配達証明に限る）、宅配便（手渡ししたことが証明されるものに限る）にて送付ください。※受領できるファイルサイズは10MBであるため、容量を超える場合は、提出先にお問い合わせください。

なお、全ての場合において提出書類の着信を電話による確認をお願いします。

### (3) 提出期限

令和元年11月7日（木）午後5時（必着）

### (4) 提出先

10. に記載

## 8. 費用負担

企画提案の作成及び実験の実施にかかる費用は公募参加者の負担です。

## 9. 選定審査

### (1) 選定審査

応募書類に基づき、応募資格及び提案内容にかかる審査を行い、実用性の高いサービスを選定します。審査は以下の評価基準に基づき、総合的に実施します。

項目	評価基準
適用性	実際の社会において利活用が可能である
妥当性	地域のモビリティサービス向上につながる
有用性	他のデータとの組み合わせ等により、E T C 2. 0 データが有用に利用される
先進性	革新的で新しい試みである
実現性	提案内容を裏付ける類似実績などがある
提供データの有効性	提供データが、地域モビリティサービスの強化の検討に利用できる

### (2) ヒアリング等の実施

応募された内容を確認するため、応募書類の提出後、日程調整のうえ担当技術者へのヒアリングやメール等により確認を行う場合があります。

### (3) 選定結果の通知・公表

選定の結果については、応募者に対して書面により通知します。なお、選定結果に至った理由については通知しません。

選定された応募者とは、提案されたサービスの取扱いについて別途協議により秘密保持等についての取り決めを行うものとします。

### (4) 選定後の変更等

選定後に辞退や提案書等の内容変更を行う場合には、あらかじめ10. 連絡・問い合わせ先に辞退申請及び変更申請を提出し許可を得てください。また、選定後の具体的な協議により、実用化が不可能と判断される場合には、選定を取り消す場合があります。

## 10. 問い合わせ及び提出先

国土交通省 道路局道路交通管理課 企画専門官 瀬戸  
係長 北川

TEL : 03-5253-8111 (内線 37432) 直通 03-5253-8483

FAX : 03-5253-1617

E-mail : hqt-etc2.0-kobo@gxb.mlit.go.jp

大学が分析するETC2.0データと民間所有データの  
共有並びに利活用に係るサービス案の募集  
参加申込書

令和 年 月 日作成

団体名 ※複数の者が共同で応募する場合は、各者を列記した上で、窓口となる者の頭に○印を付けて下さい。以下、代表者・連絡先については窓口となる者でご記入下さい。		
代表者 役職及び氏名		
提案サービス名		
提供頂くデータ名		
連絡先	部署名	
	担当者名	
	住所	
	電話番号	
	FAX 番号	
	メールアドレス	

※提案するサービスごとに作成して下さい。

提案サービスの概要書 (提案サービス名 :

)

※サービスの概要を図や写真等を交えて記載して下さい。参考となる資料・パンフレット、その他公表資料がある場合は、下の「参考資料」の欄に資料名を明記した上で添付して下さい。

※事例(経験)がある場合は、その概要がわかる資料も添付して下さい。

参考資料

## 提供頂くデータの概要書 (提供頂くデータ名 :

)

項目	内容
データの種類	
データの概要	
データの地域	
データの期間	

※提供頂くデータの概要を上表に記載して下さい。

データの項目や形式や、参考となる資料・パンフレット、その他公表資料がある場合は、下の「参考資料」の欄に資料名を明記した上で添付して下さい。

参考資料